



杉谷 洋一 議員

いじめの防止は？

教育委員会

家庭での指導や見守り

【杉谷】町内の小・中学校で、いじめはあるのか。

【教育委員会】平成21年度4件、22年度4件、23年度1件、本年度は8月末で3件の報告を受けている。事例としては仲間外れや集団による無視などがあり、これらの事案は学校が適切に対応し解決している。

【杉谷】いじめの防止策は。

【教育委員会】子どもに対して、家庭での指導や見守りが必要である。

【杉谷】学校・保護者・地域との連携は。

【教育委員会】学校全体で小さな変化に気づく目を持ち、また、町の小学校では地域との連携で、読書・音読ボランティア、見守り隊など、多くの人が学校に出入りすることにより、いじめの未然防止となっている。

【杉谷】いじめマニュアルはあるのか。

【教育委員会】各学校で、これにもとづき取り組んでいる。



仲良く遊ぶ子どもたち

遊休施設で企業とまちづくりを！

町長

まちづくり地区会議を優先



岩井 美保子 議員



使用方法が決まった旧高麗保育所

【岩井】町管理の空き施設で、地域活性化のまちづくりを企業と一緒にする場合の認可は。

【町長】利活用がない場合には、集落や企業などからの提案があれば検討する。

遊休施設は、利活用の提案が使用条件と合えば、許可できる。

所有する施設は、台帳の整備を進めている。方向性を検討し、計画的に修繕を行い、適正な維持管理に努める。利用が見込めない施設は、取り壊しの検討もしている。

大山の観光振興は？

町長

特色を生かしたい

【杉谷】大山を訪れる観光客の動向と推移は。

【町長】入り込み客数はほぼ横ばいで、滞在時間は減少傾向にある。

【杉谷】自然や歴史・文化遺産を活用し高齢者など、年代層を絞った観光の誘客施策は。

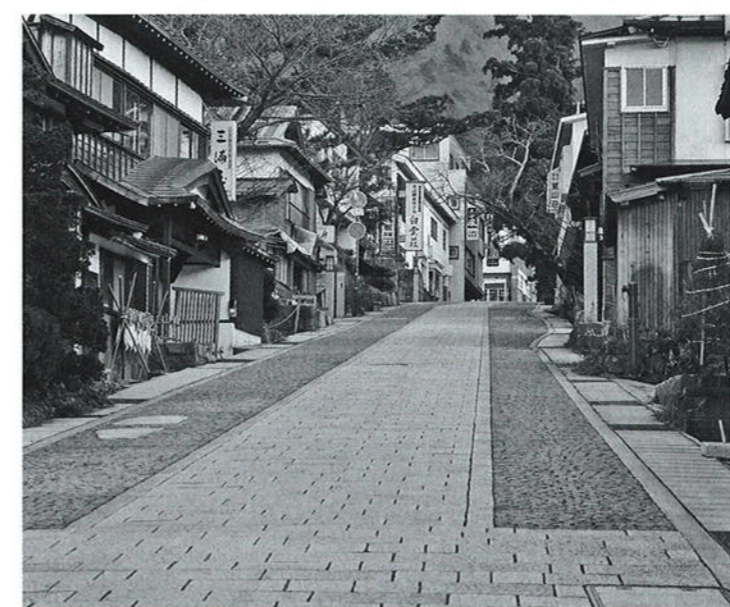
【町長】民間の温泉を生かしてリピーターと滞在時間を増やすことにより、波及効果を期待している。

【杉谷】町長が中心となり大山サミットを開催し、衰退している大山をキラリと光る霊山として守り育て全国へ発信したらどうか。

【町長】大山環境宣言の取り組みを、大山町・伯耆町・江府町で進めている。

【杉谷】大山寺創建1300年の取り組みは。

【町長】僧坊跡の国史跡指定を進め、阿弥陀堂などを中心とした活性化や各種取り組みを検討している。また、歴史文化懇話会を立ち上げ、歴史的な裏づけも進めている。



町内有数の観光地 大山寺の参道

保育所の完全給食は？

教育委員会

実施は困難

【岩井】なぜ完全給食にできないか。

【教育委員会】児童福祉法で、3歳以上児は副食給食とすると定められている。子育ての責任は親にある。すこやかな成長のためには、地域社会が全体で支えていくことが重要だ。

3歳以上児への完全給食実施は、困難と考えている。

【岩井】紫外線から子どもたちの肌を守る工夫は。特にプールでの対応は。

【教育委員会】町内の保育所では屋外での活動も積極的に取り組んでいる。

7月上旬から9月上旬までの天気の良い日に



中山みどりの森保育園のプール遊び

は、10時ごろから各クラスとも30分程度プール遊びをしている。子どもたちを陰で休ませる工夫をしている。

各施策の検証は？

町長 担当課・管理職会で

【吉原】平成23年度の決算資料で各課とも主要施策の成果がまとめられている。
 【町長】担当課・職員で評価や検証を行っている。
 【吉原】その目的や効果が職員に共有されているのか。
 【町長】事業は、予算

編成・査定で検討している。
 【吉原】管理職会での事業の再検討などは。
 【町長】業務の効率化、組織のあり方などの協議を行っている。
 【吉原】政策戦略会議を設け、管理職が共通認識を持つことが必要ではないか。
 【町長】連携するチームをつくり、実施案件を検討する。



吉原 美智恵 議員



町長と職員の懇談会

いじめと自殺の対応は？

教育委員会 啓発をすすめる

【西尾】子どものいじめに関し、第三者調査機関を設置する県教委との連携は。
 【教育委員会】過去3年間の報告件数は、平成21年度が4件、平成22年度が4件、平成23年度が1件。早期発見に努めている。
 重大な案件が発生した場合には、県の教育委員会や知事部局とも連携をする。
 【西尾】いじめの認知数が年4件。少ないのは本当になかったか。それとも見つける努力が足りないのか。
 【教育委員会】認知数

が多いことは恥ではないと思つている。見逃すことの方が教員・学校・教育委員会として恥だと思つている。
 【西尾】全国の自殺者は3万人を超えて、一向に減らない。自殺防止の取り組みと成果は。
 【町長】町内では、平成16年〜22年までの7年間で、男性33人、女性8人の計41人が自殺により亡くなつている。60歳以上が50%を超え、40代・50代が40%である。こころの健康カルタを使い集落などで、啓発や周知をはかる。



西尾 寿博 議員



町がすすめるこころの健康カルタ

【吉原】国の史跡指定をめざす、大山僧坊跡と所子伝統的建造物群保存地区の事業の状況は。
 【教育委員会】両事業とも地元の同意を得て、国への申請が可能となるので、その作業に入っている。
 調査により、学術的に価値が高いものであるという位置づけができた。
 【吉原】本町には歴史的に価値のある神社やお寺が多くある。ツーリズムに生かすための観光商工課との連携は。
 【教育委員会】地域資源の活用を共同発信していく。
 【吉原】貴重な歴史遺



大山寺の阿弥陀堂

文化財の活用は？

教育委員会

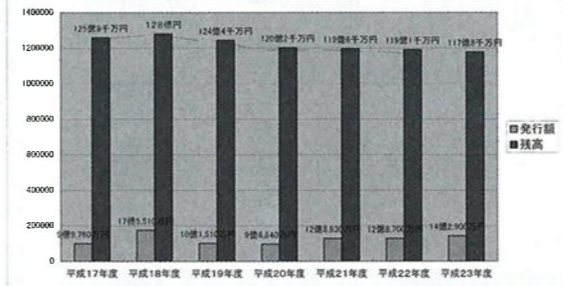
観光商工課と共同発信

産を生かすためにもボランティアガイドの養成や、説明資料の充実など、積極的に関わって行くべきではないか。

【教育委員会】ボランティアガイドの養成と強化をめざしていく。

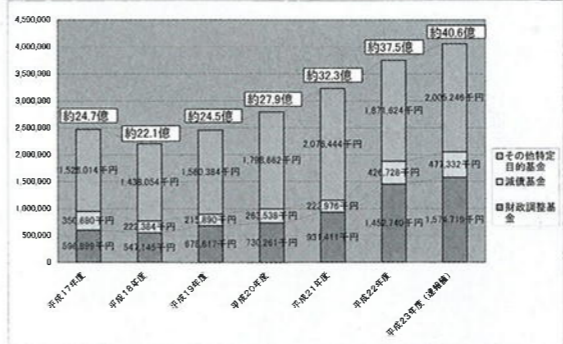
一般会計起債残高の推移

※平成23年度は決算見込み



合併後7年間で 約8億1千万円の減

基金残高の推移



合併後7年間で 約15億9千万円の増

行財政改革審議会の資料

財政状況は？

町長

選択と集中が必要

【西尾】心配されていた財政基盤も落ちつきを見せている。基金と公債のかね合いは。
 【町長】平成27年度から普通交付税が年々減っていく。公債に対する交付税措置を考えていると、将来負担比率や実質公債費比率が後年に悪化する。バランスを見なが

ら、持続可能な財政運営をする。
 【西尾】合併後7年間で基金が増えて、起債が減った。
 町民のためになることであれば、起債をしても、事業をするべきだと思うが。
 【町長】選択と集中の行政運営や、効果のある施策を進めている。

公社の海外事業は？

町長 先行投資である

【諸遊】前専務理事の事業展開を疑問に思う町民が多い。
昨年度は、海外出張回数6回、延べ69日、費用250万円だが、今年度は、4月から8月まで売上がない。このような状況で、住民監査請求が出されたが、どう取りあつかうか。
【代表監査委員】住民監査請求書は、要件を満たさない部分があった。請求書の補正が終

れば受理し、関係法令の規定にしたがい監査していく。
【町長】住民監査請求の提出は残念だ。公社の事業と運営は、適正であると認識している。
今回の事業展開をむだだとは思わない。将来に向けて、町内産品を大山ブランドとして国内外に広めるための先行投資である。



諸遊 穰司 議員



海外での販売促進事業

学力テストは？

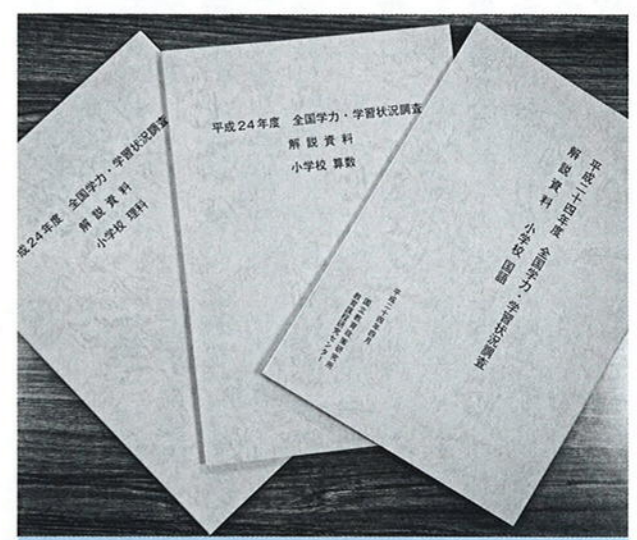
教育委員会 学習指導の改善に

【野口】学力テストの抽出校はどの学校か。
【教育委員会】小学校1校で特定されてしまうため、公表しない。
【野口】抽出校以外の学校は、任意でテストを実施したか。
【教育委員会】全校が任意でテストを実施した。
【野口】各学校で、全国平均以上の科目は。
【教育委員会】学校ごとの結果で答えられない。

【野口】テストを教育にどう生かすか。
【教育委員会】学習指導の改善や充実に役立っている。
【野口】成績上位の秋田県・富山県などに見習うべき点は。
【教育委員会】家庭での学習習慣の定着の取り組み。本町では、児童・生徒の家庭学習の時間が、全国・県平均と比較して短い。保護者と協力をしながら取り組みを進めている。



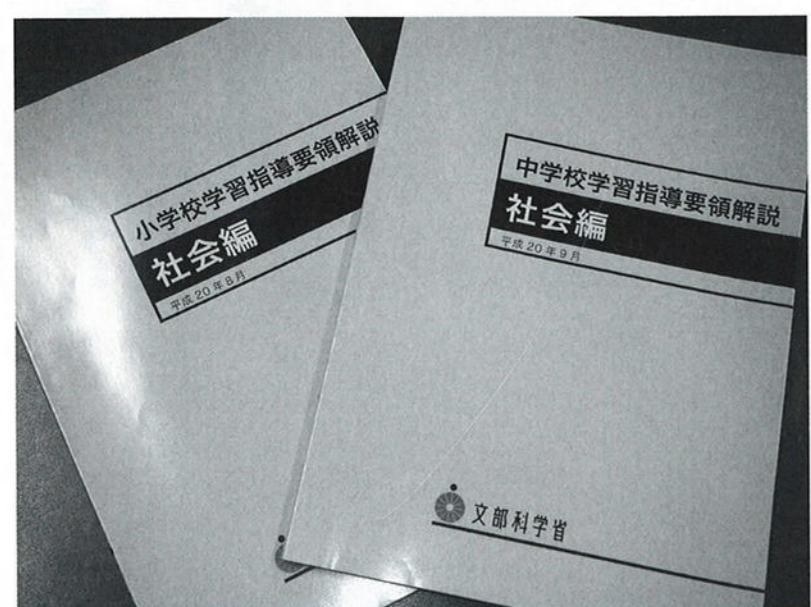
野口 昌作 議員



学力・学習状況調査の解説資料

教育委員会 国会での討議が原則

【諸遊】国が尖閣諸島の地主と売買契約を結んだら、中国の日本企業に対して、放火・破壊・略奪などがあつた。北方領土・竹島についても問題がある。過去の政府の対応が不十分であつた。
日本人の強い心・信念・誇りを取りもどすには教育しかない。
児童・生徒に、日本の領土についてのどのような教育をしているのか。



小・中学校の学習指導要領

日本の領土の教育は？
国会での討議が原則
方領土・竹島・尖閣諸島についてふれている。今回の問題は、国会で討議してもらおうのが原則である。

町長 狩猟期の奨励金を検討
の増額を！

【野口】イノシシによる農作物の被害は、年々範囲が広がり、農業経営を圧迫している。被害を食い止める最も確実な方法は、駆除することだ。
農業を守るため、捕獲奨励金の増額をしないか。
【町長】1万円だったものを平成22年度から1万5000円に引き上げている。また、猟友会へ有害鳥獣駆除を120万円で委託している。



捕獲されたイノシシ

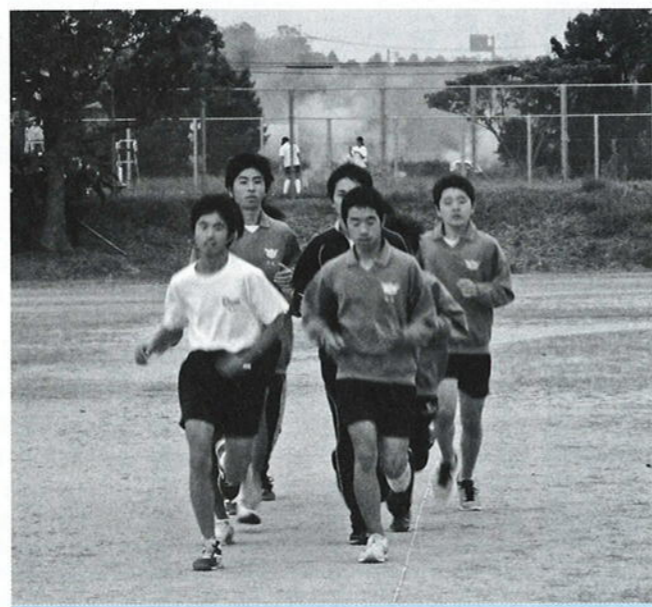
県内で1万5000円は本町と日野町だけでありさえ置きにする。個体数を減らすためには、狩猟期の捕獲頭数を増やすことも必要であり、狩猟期の捕獲奨励金制度を検討する。

いじめを許さない 学校づくりは？

教育委員会 人権感覚を高める

【岡田】 大津市の中学校で、いじめによる自殺があり、全国に大きなショックを与えた。いじめを許さない学校づくりに不可欠な、児童や生徒の実情把握や分析と、教師の対応力は。

【教育委員会】 人権教育は学校教育の根幹と位置づけている。小さな変化に気づく目を持ち、教師が絶対に許さないという熱意



良好な人間関係づくりを

【岡田】 子どものたちの良好な人間関係づくりと、人権侵害で許されない行為という意識や行動力の教育は。



学校教員の研究会

【教育委員会】 相手を理解し、相手の立場を考へ行動することが大切。また、いじめを含め人権侵害は決して許されない。人間教育や道徳教育に力を入れていくことが大切である。

教育委員会 資質・能力・意欲が向上

教員評価制度は？

【岡田】 教員評価制度の運用状況と成果は。

【教育委員会】 教師が学校組織の中で、自分の役割を自覚するとともに、明確な目標を持ち、実践にあたるようになった。

それに対する適切な評価で、教師としての資質・能力・意欲が向上している。



岡田 聡 議員 一般質問席

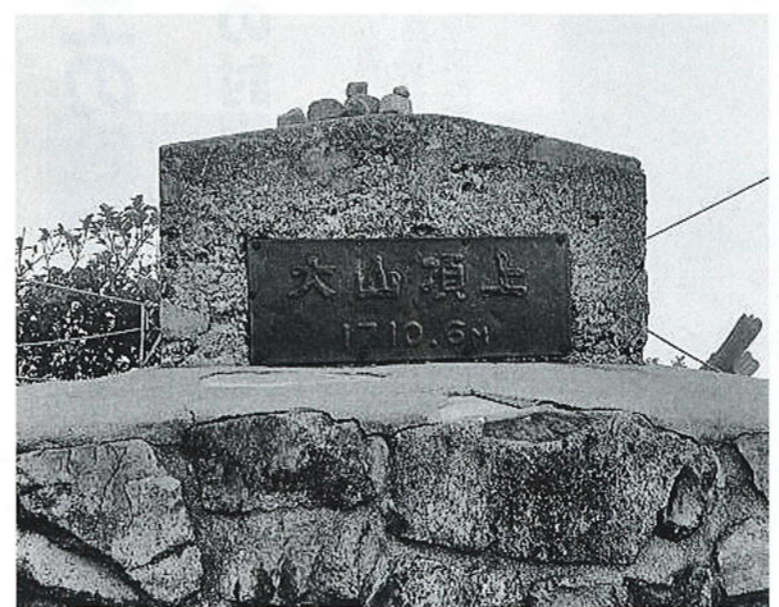
就学援助制度の拡充を！

教育委員会 周知の工夫に努めたい

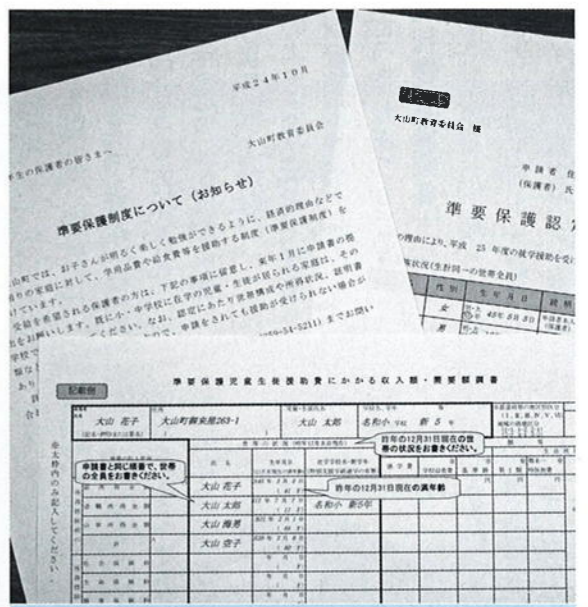
【大森】 就学援助制度は、昭和31年の法律制定以来、就学困難な小中学生の保護者に経済的な援助をする制度として定着してきた。

【教育委員会】 標準保護額を増やす考えは、保護者への給付額として毎年約1000万円必要。財政状況を考える

【町長】 平成19年度の詳細測量以来、山頂の崩落状況を監視してきた。



背後に崩落がせまる山頂碑



どの子にも教育の機会均等を

【大森】 7年前から民生委員の助言が必要なのに、本町では今も続けている理由は何か。

【町長】 今後も監視を

【大森】 崩落の危機に對して、どんな対策を考へているか。

大山の頂上碑は？ 対応策を検討

【大森】 今後も監視を

価値あるものである。

継続し、崩落の進行があれば、本町から呼びかけ、対応策を検討してもらおう。



大森 正治 議員

意見書

9月定例議会で委員会から発議された意見書の内容と、採決の結果は次の通りです。

提出 国

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

平成14年、北朝鮮は拉致を認めて5人の被害者を返した。その後は5人の被害者の家族の帰還以外まったく進展はない。拉致問題は重大な主権侵害であり、かつ許しがたい人権侵害である。政府は、全精力を傾けてすべての拉致被害者を早急に救出するよう強く要望する。

可決

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全などを推進する市町村の役割をふまえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

可決

香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書

政府は、現場海域で撮影した映像を早急に公開すること。不法行為・犯罪行為に対しては、厳正に刑事手続きを進めること。尖閣諸島及びその海域の警備態勢・方針を抜本的に見直すとともに、領土・領海を守るために必要な法制度の整備、関係機関との連携、装備・人員の手当て等の拡充を急ぐこと。尖閣諸島の有人化と海の有効活用をはかること。尖閣諸島は歴史的にも国際法的にもわが国固有の領土であり、領土問題は存在しないという明確な事実を国際社会に示すこと。

可決

李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓外交の見直しを求める意見書

韓国の李明博大統領は、8月10日に島根県・竹島に不法上陸した。8月14日、天皇陛下の韓国訪問に言及し、「韓国を訪問したいなら、独立運動で亡くなった方々に対し心から謝罪をする必要がある」と述べた。8月15日の「光復節」での演説で、いわゆる従軍慰安婦問題についても言及し、「日本の責任ある措置を求める」などと述べている。韓国の行動は歯止めが効かなくなっている。対韓外交の総合的見直しを進めるべきである。

可決

提出 県

鳥取県老人クラブ社会参加活動促進事業の継続を求める意見書

老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な活動組織であり、高齢者の生きがいと健康づくりを進めてきた。最近「支え愛活動」などの社会貢献活動も、重要な柱としており、地域社会の守り手として、大きな期待が寄せられるところである。鳥取県老人クラブ社会参加活動促進事業について、平成25年度以降も、予算を確保すること。

可決

福岡県岡垣町から議会広報の研修に

お知らせ



視察に来た岡垣町議会広報委員(右側)

8月3日に、福岡県岡垣町議会の広報委員会が、大山町議会へ視察に来られました。視察の目的は、議会のインターネット中継を現実させるまでの経緯と、議会だよりだいたいの作成手法の調査でした。終盤には、岡垣町議会の広報委員さんと大山町議会の広報委員とで、意見交換をしました。紙面の内容を充実させるためなどの議論を交わしましたので、今後の議会だよりにより生かしていきたいと思えます。

名和地区は1園に!

教育委員会

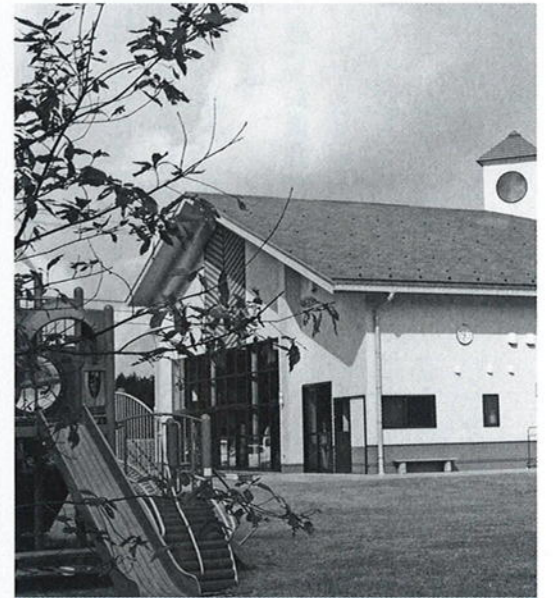
アンケート調査を実施

【竹口】名和地区の保育所再編で、既存の保育所を1カ所残し、拠点保育所との2カ所体制とする理由は、【教育委員会】通園距離がのびる保護者の負担と、保育所選択肢の減少を考慮。【竹口】通園距離がのびることに配慮が必要であれば、現状の長距離通園者への配慮は必要ないのか。【教育委員会】距離だけの問題ではなく、いろいろな要素を考慮して決定する。【竹口】そのほかの要素は何か。【教育委員会】出生数の減少を考え、既存の保育所も利用し、将来は1園にすることも検討する。

【竹口】2園体制では、教育審議会が適正規模とする人数は維持できないが、答申は尊重しないのか。【教育委員会】教育審議会の答申は尊重するが、縛られるものではない。【竹口】今後、どういう予定で決定していくのか。【教育委員会】1園どこを残すのか、または残さないのかを保護者へのアンケート調査で決めていく。

【竹口】名和地区の保育所再編で、既存の保育所を1カ所残し、拠点保育所との2カ所体制とする理由は、【教育委員会】通園距離

竹口 大紀 議員



再編でよりよい保育環境を

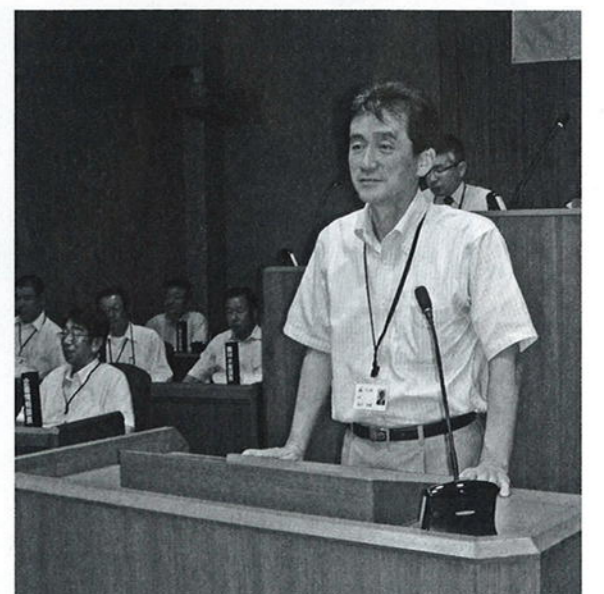
次期選挙への意欲は?

町長

支援者と相談したい

【小原】就任以来の実績と成果は。【町長】「多様な資源を生かす元気なまち」「元気の町民・職員のまち」「子育てしやすいまち」「高齢者が安心してすごせるまち」「ひとにやさしく安全・安定のまち」などの取り組みが着実に進んでいる。【小原】登山でいえば今は何合目か。【町長】到達点は3合目。【小原】次期町長選への意欲は。【町長】3合目の事業

を成長させるため、町政のかじを取りたいが、支えてもらった人たちに相談する時間がほしい。【小原】本町にはまだ多くの課題があるが。【町長】時間をかけ、計画的に取り組んでいかなければならない。【小原】今後の町政のビジョンと決意は。【町長】今はビジョンを話す状況ではない。次期への意欲としては、先ほど述べた思いを感じてもらいたい。



就任1年目に思いを語る町長

小委員会の審議状況

	開催日	主な協議・検討内容
第1回	平成24年1月10日	議会改革調査特別委員会の調査研究内容、今後のスケジュール
第2回	平成24年2月8日	第1次大山町議会改革の取り組みの検証結果、今後のスケジュール
第3回	平成24年2月29日	議会改革推進のための先進地視察・勉強会・学術機関などとの連携
第4回	平成24年3月30日	第3回全体会のまとめ、今後の進め方
第5回	平成24年4月23日	議会報告会での「議会改革」への意見・提言、今後の進め方
第6回	平成24年4月26日	今後の議会改革調査特別委員会の進め方
第7回	平成24年5月28日	議会改革の取り組み（議員定数、報酬などについて）
第8回	平成24年5月31日	議会改革の取り組み（議員定数・報酬などについて提案事項のまとめ）
第9回	平成24年7月23日	今後の議会改革調査特別委員会の進め方
第10回	平成24年9月18日	第8回全体会のまとめ、今後の取り組み

現状と改革案

項目	細目	現状	改革案
定数	議員定数	19人	16人
政策形成能力	議員討論会	必要に応じ、全議員で実施している。 (最近では、本年6月定例会時に「大山恵みの里公社のあり方」をテーマに実施)	今後は、6月・12月定例会において、全議員で実施する。
	議員研修会	①鳥取県町村議会議長会主催の研修会(年1回)、西部町村議会議長会主催の研修会(年1回)に全議員が参加している。 ②全国市町村国際文化研修所で開催される研修会に、全議員が4年の任期中に1回参加している。	①現行の研修会参加に加え、新たに大山町議会独自の議員研修会を年1回開催する。 ②全国市町村国際文化研修所などで開催される研修会に、全議員が毎年1回参加する。
	政務活動費 (自治法改正により、本年9月から政務調査費は政務活動費と改められた)	政務活動費の交付はない。	各議員に政務活動費として、月額5000円の交付を検討する。 支出内容は政策形成に必要な調査・研修・資料購入に要する経費と限定し、透明性を確保する。
情報公開	表決の明示化	議案に対する議員の賛否は記録していない。	表決の賛否がわかりやすくなるよう検討する。
	委員会の公開など	本会議のみを大山チャンネルで配信している。	本会議に加え、委員会の配信も検討する。
	本会議のインターネット配信	平成23年9月定例議会から、試験的に実施している。	本格稼働とする。
	議会ホームページの拡充	本年7月から議会独自のホームページを新たに開設し、議会情報の充実をはかっている。	

その他、議会モニター制度や議員による集落座談会は、検討の結果、行わないとする意見で集約されています。また、委員会の構成・議員報酬などについて今後も検討予定です。

最終報告をまとめるにあたり、改革案や大山町議会全般について、広くご意見を求めますので、みなさまの声を議会までお寄せください。

【議会事務局】 ☎ 0859-54-5213 具 0859-54-5214

特集

みなさんと一緒に議会改革!!



今後の議論のためにご意見を募集します!



7月にリニューアルした議会ホームページ(「大山町議会」で検索)

地方分権が進展し、地方議会がはたすべき役割も重要性を増しています。大山町議会では、これまでも、議員定数の削減・議会のテレビ中継・議会報告会の開催など、着実に議会の改革を進めてきています。そして、昨年12月に再度、議会改革調査特別委員会を設置し、政策形成能力・議会運営・情報公開など、分権時代のあるべき地方議会をめざし、検討を行っています。

6月定例会では、健全な議会運営ができる定数に配慮しつつ、財政改革の一環として、現行19人の議員定数を16人に削減する中間報告をまとめました。

現在、12月定例会で最終報告を行うため、次のような改革案を検討しています。

議会改革調査特別委員会の審議経過

平成23年12月定例会で、全議員で構成する議会改革調査特別委員会を設置し、小委員会(構成6名)も合わせ現在まで20回の審議を重ねています。

全体会の審議状況

	開催日	主な協議・検討内容
第1回	平成24年1月25日	議会改革調査特別委員会の調査研究内容、今後のスケジュール
第2回	平成24年2月20日	議員からの議会改革への提案・提言、議会改革推進のための先進地視察・勉強会・学術機関などとの連携
第3回	平成24年3月19日	議会改革実施に向けた今後の方向性(議員の資質向上、情報公開など試案の検討)
第4回	平成24年4月12日	第3回全体会のまとめ(議員の資質向上など)、議員定数・報酬・政務調査費など
第5回	平成24年5月11日	議会改革に対する議会の意見集約
第6回	平成24年6月15日	大山町議会議員定数など
第7回	平成24年6月19日	大山町議会議員定数など
第8回	平成24年6月22日	大山町議会議員定数など
第9回	平成24年7月26日	今後の議会改革調査特別委員会の進め方
第10回	平成24年9月24日	第8回全体会の総括、今後の取り組み

定例会
議事状況
監事報告
質疑
委員会報告
一般質問
お知らせ
特集

声

みんなのひろば



阪本京子
 (御来屋11区)



最近、生後間もない赤ちゃんを
 当たり前のように保育所に預けて
 働く母親もいます。

国の政策もあり、またそれを選ぶ
 のは本人の意思ですから誰も何も
 言えません。

赤ちゃんの脳は未熟な状態で産

まれ、3歳までに半分が、残りの半
 分は思春期ごろ完熟すると言われ
 ています。3歳までにその子の人格
 が形成されるのです。五感を育てて
 やりなさいとよく言われます。

大山町のお母さんの中には、自分の
 子育てをがんばっている方もいます。

乳幼児期はしっかりと甘えさせて、
 自分の腕の中で抱きしめてやれば、
 安心して次のステップの友達と関係
 を築いていけるのです。そして、思
 春期にもその愛情は忘れないもの
 となり、その子の生きる力となりま
 す。成人した時は、親としての達成
 感につながります。

子育ては、先の長いもの。よく考
 えて行動していきたいものです。



岡田亜由美
 (中林)



児童館の職員として、日々子ども
 と関わる中で大切にしていること
 は、一人ひとりをよく見て、ありのま
 まの子どもの姿を肯定的に受け入
 れる(自己肯定感、子どものありの
 ままを受け入れる(受容)、身体ごと
 耳を傾けて聞く(傾聴)、子どもがや

りたいこと、やりたくないことを決
 定させる(自己決定)です。

そうすることにより一人ひとりの
 信頼関係が生まれ、心を通わせる
 ことができるのではないかと思っ
 ています。

子どもたちが社会で幸せに生き

るために、さまざまな感動を体験さ
 せ、表現や伝える技術をきちんと身
 につけさせること。無限大の才能や
 可能性を引き出すこと。その手助け
 をするのが私たち児童厚生員の仕
 事だと思っています。子どもたちに
 幸せの種をまき、その子どもたちが
 いつかきれいな花を咲かせるまで温
 かく見守っていききたいと思います。



森田かすみ
 (香取上)



チャレンジドII障害がありながら
 も生きることチャレンジし続ける
 人。

わが家の長男は今年小学6年生。
 知的障害があり、入学時から特別支
 援学級に在籍しています。学校の中
 で先生方や上級生のみなさん、そし

て、交流学級の仲間からの声かけ、
 励ましの言葉のおかげで、自分の力
 をつけてきました。地域の方からも
 「がんばってるなあ」と伝えてもらっ
 と、本人も自信になり、私や家族に
 とっても支えとなっています。

自分に「ぼくもやれる」という自

信をつけてこれた6年間、親とし
 て、関わってくださった方々へ感謝
 の気持ちでいっぱいです。

チャレンジドとして生きる息子
 に、これからも地域の方の温かい眼
 差しで光を当ててくだされば幸い
 です。

あとがき

9月定例議会は、決算議
 会であった。違法性はない
 か、数字に誤りはないかな
 どの視点で審議した。

議員は足を運び、汗を流
 し、時には住民とともに涙
 を流す...そこが、まちづく
 りの原点である。

長く親しんできた町並
 みの風景が変わっていく。お
 じいさん、おばあさんが亡
 くなっていくのと同じよう
 にさびしい。心の記憶とい
 うのは生きるエネルギーで
 ある。

お互いの認め合いは、一
 人ひとり個性を生かす。助
 け合いは、一人ひとりのよ
 さを伸ばす。励まし合いは、
 一人ひとりを勇気づける。

そうして、お互いに花ひら
 き人生は輝く。

そんな町でありたい。

西山富三郎

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報委員会】

- 委員長 竹口 大紀
- 副委員長 大森 正治
- 委員 西山富三郎
- 委員 池田 満正
- 委員 杉谷 洋一
- 委員 米本 隆記